

しもやましょう 下山賞 初代国鉄総裁下山定則の遺業を記念するために創設されたもので、昭和27・7下山賞規程が制定され、つぎの各号の1に該当する功績のあった者に授与される。

- 1 国鉄の業務改善に顕著な貢献をした者。
- 2 国鉄に関係のある科学技術の向上に顕著な貢献をした者。
- 3 国鉄職員の福祉増進に顕著な貢献をした者。

本賞は毎年鉄道記念日の10月14日に、5人以内に授与される。受賞者の範囲は国鉄部内のみにかぎらず、広く一般を対象としている。なお受賞者の選考を公正適切に行うために、本社に関係部局の長および学識経験者をもって構成する下山賞選考委員会を設置している。

授与形式は賞状および賞金となっており、賞金は国鉄が下山定則氏記念事業会から寄託を受けた基金から支出される。

(岩井敏夫)

しゃあつかいかもつせつぞくさぎょう 車扱貨物接続作業

国鉄鉄道線と国鉄自動車線との相互間を通じて車扱貨物を運送する場合には、その接続駅において車扱貨物を貨車から自動車へ、または自動車から貨車へ積換えなければならない。この接続駅における車扱貨物の積換作業をいう。

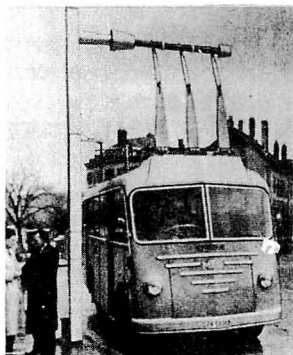
この接続作業は貨主が自ら行うべきものであるが、作業の迅速化、貨主の便宜等取扱の実情を考慮し、貨主の負担する費用で国鉄が行うこととしている。そして接続料として貨主から収受する料金は、1tまでごとに100円である。

国鉄はこの作業を行う場所、これに伴う貨車・自動車間の運搬作業の範囲等を、あらかじめ、接続駅駅長が指定することとして、通運事業者に請負わせている。(重森直樹)

ジャイロバス (英) gyrobuss 電気動力方式による最新の道路用車両。電気を動力とするが蓄電池にもよらないし、架線も必要としない。停留所に停留中電柱から電気をとって、このエネルギーを大型はずみ車(ジャイロ)を回転するエネルギーとして蓄積し、これによって車を走らせるものである。

つきにこの方式の要領を述べると、車台の中央下部に垂直軸

を置き、これに重量1.5tのジャイロとこれを駆動する電動機(励磁機をつけて逆に発電機として使える)をつける。停留場でとるとき3本のポールを立てて給電柱に接触させ、3相交流の電気をとり、これで電動機を動かしてジャイロを回転させる。1分間3,000回転に達すると自動的に給電が停止する。静止状態から3,000回転に達せしめ



ジャイロバス

るためには約3分を要するが、普通停留場に停車するときにはジャイロの回転が相当の速度で行われているから、だいたい1分以内の給電で3,000回転に達する。この回転ジャイロを原動力として電動機を発動機として作用させ、6つの速度変更をもつ駆動電動機を回し、歯車で車軸に伝えて車を走らせるのである。このジャイロは無荷重の場合、17時間も回転を継続できるほどのエネルギーを蓄積するもので、全荷重を乗せた場合でも5.6kmは走行可能である。下り坂では車輪を原動力として逆に電気を発生させ、ジャイロにエネルギーを返すことができる。

この車両の操縦と制御はトロリーバスとほとんど同様で、操

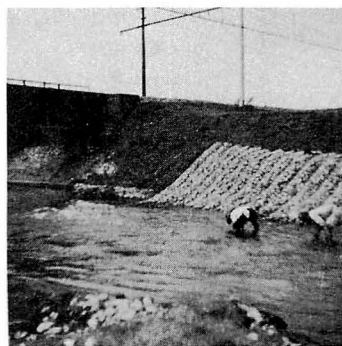
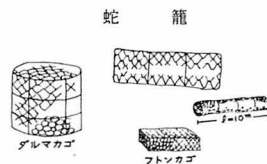
縦機器のほか電灯用と制御用の2組の蓄電池を備えている。ジャイロは床下に取付けられているが、直結の電動機は床上に少し突出するので、そのところは背中合わせの座席でかくされている。

スイスのイヴェルドン町で1951年1両運転したのが最初で、その後3両が就業している。このバスの車体はアールブルク会社の製造にかかり、機械装置はユーリコン電機会社が製作したもので、全重量は11tに達する。

参考文献 Oct. 23, 1954, "The Illustrated London News"; March 20, 1954, "Modern Transport" (柄沢貞治郎)

しゃうんしゃ 車運車 特殊な積卸設備のある駅間発着となる馬車・自動車およびその他の車両類の輸送に使用する貨車である。側は鉄板張りで内部には木板を張り、両側に開閉戸を有するほか、妻にも開閉式の戸を設けてあって、縦積ホームでの積卸に便利である。だいたい有がい車とあまり変りはない。したがって有がい車に代用することができる。(中尾福三)

じゃかご 蛇籠 鉄線、竹、柳枝等を円筒型または箱枠(わく)に編み、これに玉石等を填(てん)充して護岸、水制工等に使用するもの。鉄道における河川構造物の根固め等に使われるものの中で、割合よく使用されるもので、とくに災害時の応急の工事には各種類にわたって使用され、その効果をあげている。また蛇籠の使用に当っては、単独で使用され、橋脚や護岸の根固めとするもの、または杭打、沈床、捨石等と併用されるものがある。現在よく使用されるものは鉄線蛇籠であるが、まだ竹蛇籠等も河川工事には見受けられる。



蛇籠

1 鉄線蛇籠

よく使用されている

一般的のものは8番鉄線、または12番鉄線を使用し、網目は10~15cmくらいとして、籠の径はだいたい45~90cmくらい、長さは10mくらいのものを現地で手編したり、または機械編の既成品のものを組立て、中に詰石をしながら敷ならべるのである。これらに使用する鉄線は、なまさないのを用いる。鉄線蛇籠にはふとん籠、だるま籠等があり、使用法はだいたい同じである。

2 竹蛇籠

前記の鉄線蛇籠の鉄線のかわりに、竹材(ひご)を使用したものをいう。

以上はいずれも耐久性に欠くため、主として応急工事に使用されているが、橋脚等の根固めとしては半永久的に使用されている。(尾崎 寿)

じゃくこうせん 若江線 福井県小浜市と滋賀県伊香郡木ノ本町方面とを結ぶ国鉄自動車路線であって、所管する自動車営業所は滋賀県高島郡今津町(近江今津)、同支所は福井県小浜市(小浜)および滋賀県伊香郡木ノ本町(木ノ本)にある。